

皆さん、こんにちは。城北支部広報部です。2016年度最初の「JOUHOKU SHINDAN 誌」は、研究会紹介です。今回取り上げた「経営革新研究会」は過去1年のテーマを見てもかなり幅広い分野を扱っています。大ベテランの先生も多く参加されていますが、自由に質問や発言ができる雰囲気があります。本誌編集員も一度参加しましたが、皆さんの視点がユニークで新鮮だったのを覚えています。興味あるテーマの回にまずスポット参加してみたいかでしょうか。

### “経営革新研究会”の紹介 代表幹事 河本吉弘

#### 会の歴史は

2004年に「本当の経営革新を提案し、実施を支援する」、「今こそ我々中小企業診断士の出番」と土志田利雄先生を発起人・代表者としてスタートしました。今年で13年目、2月の定例会で144回を数えます。城北支部の研究会の中では老舗になりますね。



#### 会の活動は

例会は、基本、毎月第2土曜日の午後、「ハイライフプラザいたばし」で開催しています。会員の先生、ゲストの先生による講演が行われ、そのテーマについての活発な質疑応答、情報交換が行われます。講演内容、質疑応答は充実していると思います。

#### 研究テーマは

「経営革新」という大テーマのもとさまざまです。講演テーマは、「経営革新の支援事例」、「経営支援手法」、「市場・業界動向」、「政策・制度」また、「経営理念・ビジョン」、「診断士の役割」など、先生方の専門テーマ、研究中のテーマ、経験を基にした内容です。

#### 【過去1年間の講演テーマ・講師】

| 回   | 年月日        | テーマ                             | 講師        |
|-----|------------|---------------------------------|-----------|
| 144 | 2016.2.6   | 日米流通業界の変遷                       | 坂根 宏明 会員  |
| 143 | 2016.1.9   | 産学連携に関する診断士としての取組みの一事例          | 松田 直城 会員  |
| 142 | 2015.12.12 | J:COM経済番組『おしごと総合研究所』の事例紹介       | 千種 伸彰 会員  |
| 141 | 2015.11.7  | 茨城県の経営革新の現状／“経営革新計画”承認企業の革新ポイント | 遠藤／河本 会員  |
| 140 | 2015.10.10 | 堀口式5Sメソッド 経営を改善する5Sとは？          | 堀口英太郎 会員  |
| 139 | 2015.9.19  | 障がい者雇用における現在の課題とシステム開発取り組み事例    | 岡 隆太 会員   |
| 138 | 2015.8.8   | 本田宗一郎のことば(DVD) ・解説              | 小倉 豊次 会員  |
| 137 | 2015.7.4   | 日本の生花業界の今昔                      | 石川 知穂 会員  |
| 136 | 2015.6.6   | 板橋は、創業4分野マスターコースで創業者天国          | 小木曾 充明 会員 |
| 135 | 2015.5.08  | ダイバーシティ人材経営～生産性を上げる濃い働き方        | 大山ふみ子 会員  |
| 134 | 2015.4.11  | 診断士独立1年目の状況と事業再生事例              | 中原 達男 会員  |
| 133 | 2015.3.7   | 個人商店・町工場のメディアPR術                | 岡本 陽介 会員  |

#### 講師は

会員の先生だけでなくゲストの先生にも登壇いただいています。昨年は、城北プロコン塾出身の岡本、大山、石川、岡、堀口各先生を講師としてお招きしました。若手の先生の話は新鮮ですね。今後も声をかけますので、その際はよろしくお願ひします。

## 会の特徴は

経営革新研究会のイメージは、ある先生によれば「ズシリと重い印象」だそうです。米寿の小倉先生、傘寿の土志田先生、太田先生など大ベテランの先生方も多く、そういう印象なのかなと思います。製造業出身の方が多いのも特徴ですね。

## 会員数は

常連の先生は 10 名ほどですが、昨年 1 年間に参加された先生は 53 名になります。飛び入り参加は大歓迎です。かなりオープンな研究会といえますね。

## 今後に向けて

若手の先生方にももっと参加していただきたいと思っています。質疑応答でのベテランの先生方の視点、切り口は本当に勉強になります。また、自分自身の講演に向けて、研究テーマを広げ、深め、まとめていきます。これは少しプレッシャーですが大変良い機会であり、診断士としての大きな資産になります。

## おわりに

経営革新研究会は、「ベテランの先生方の深い経験・知識、若手の先生方のフレッシュな感覚のコラボレーション」、診断士としての「知識・スキルの向上を図る」、さらに有意義な交流、相互研鑽の「場」にしていきたいと思っています。

### 【2月度の研究会風景】



## 城北プロコン塾より ～「塾生のひとり言」～

城北支部 大森 良夫先生 連絡先 : [yohmori@netbiz.jp](mailto:yohmori@netbiz.jp)



診断士になって 1 年目、城北プロコン塾 3 期生の大森良夫です。インターネット業界ひとすじ 17 年の企業内診断士ですが、「ネットビジネス・テクノロジー」の屋号で個人事業主としても活動しています。地元の練馬区をこよなく愛しており、昨年「ねりま中小企業支援センター（ねりせん）」にも会員として参加させていただきました。▼これまで、システム開発/運用・情報セキュリティ・広告営業・経営企画と、インターネット業界でひと通りのキャリアを歩んできたこともあり、インターネットビジネスを「点」ではなく「面」で考えることが得意です。逆に言えば、今後の課題は「一点突破の専門領域」を身につけることですね。▼ところで、私はインターネットの最大の強みは「マッチング」だと考えています。知りたい情報を検索できるのも、ネットショップで商品を買うのも、求人サイトから仕事に応募するのも、すべて情報発信者とユーザーのマッチングです。そう考えると、中小事業者がインターネット上で顧客を獲得するには「有益な情報を、上手に、世にたくさん発信すること」に帰結します。しかし、この「上手に」が難しいのです。加えて、デバイス革命で時代はスマートフォンへ。ここにコンサルティングの価値が生まれますので、過去の経験と新たな学びを融合して、お客様の課題解決にチャレンジしたい

と考えています。▼趣味はもともとフルマラソンでよく全国のレースに出ていましたが、診断士の勉強に時間を振り切ったためすっかり太めになってしまいました。診断士は見た目も大切(?)ですので、今年には気合を入れてダイエットしようと決意しています。▼最後になりましたが、城北プロコン塾での学びを活かして、皆さまから信頼をいただけるよう謙虚に頑張ってお参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 【本誌に関する皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております】

### ①皆さまがお持ちの“ネタ”を提供してください

- ・研究会・区会の活動を紹介したい、または、ご自身のセミナーを紹介したい。⇒広報部員が潜入します
- ・ご自身の特技を紹介したい。支部内の方と交流したい。⇒「今月の城北人」のコーナーで紹介します
- ・診断士としてのノウハウを紹介したいなど ⇒特集記事化します。

### ②皆さまが知りたいことを教えてください

- ・企業内診断士の活動状況が知りたい。
  - ・独立するには、どうしたらいいかを知りたい。
- ⇒各種 特集を組んで記事を作成します。

### ③読者としての(批判も含め)感想をお聞かせください

- ・批判的な内容もお願いします。今後の改善に活用させていただきます。

### ④本誌編集スタッフ募集中

- ・「隙間時間にちょっと」「アイデアを出すだけ」でも構いません。

問い合わせ先 城北支部広報部：[johoku.kouhou@gmail.com](mailto:johoku.kouhou@gmail.com)まで よろしくお願ひ致しま

## JOUHOKU SHINDAN 誌

～研究会紹介～

2016年2月17日発行

発行者：城北支部長 朝倉久男

編集者：城北支部 広報部